



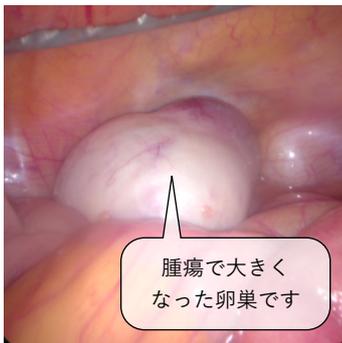
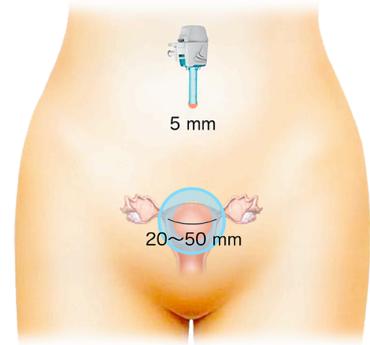
腹腔鏡補助下卵巢奇形腫摘出術について

● 手術の方法

- 全身麻酔下に**卵巢の奇形腫だけを摘出する手術**です。正常の卵巢組織はすべて温存します。

● 腹腔鏡補助下子宮付属器腫瘍摘出術 (LAC)

- 臍から5mmのカメラを挿入し、下腹部に30～40mmの小切開を加え、子宮の位置や角度を操作する子宮マニピュレーターも装着します。カメラで確認しながら**囊腫のある卵巢を切開部位に移動**させます。
- 囊腫を穿刺して内容液(液性脂肪)を吸引して縮小した後、**卵巢を腹壁上に引き出し、奇形腫を摘出**します。こうすることで、腫瘍内の固形成分(毛髪、固形脂肪、軟部組織など)を腹腔内に散布させずに完全に摘出することができます。
- 正常の卵巢組織を吸収糸で縫合して形成します。卵巢を腹腔内に戻し、腹腔内を洗浄します。骨盤内に異常がないことを確認し、形成した卵巢に癒着防止スプレーを噴霧します。
- 皮膚の切開創は吸収糸で縫合し、表面は医療用ボンドで閉鎖します。
- 手術時間は平均45分(25～100分)です。



● 手術中に起こり得る予定外の事態(合併症を除く)

- 性交経験がなく腔が狭い場合、子宮マニピュレータの着脱によって腔壁裂傷を生じることがあります。裂傷は縫合します。
- 過去に受けた手術や腹膜炎などによって腹腔内に高度の癒着があり、内視鏡の視野を確保できない場合は中止することがあります。
- 手術中に**卵管・卵巢の癒着**や子宮内膜症が見つかった場合は、癒着剥離や内膜症病変の治療も追加します。側腹部に5mmの切開を追加することもあります。

● 術後に気をつけること

- 医療用ボンドは1週間程度で自然にはがれ落ちます。退院後は普段どおりにシャワーや入浴できますが、ボンドをこすらないようにしてください。
- 卵巢腫瘍は病理組織検査で診断が確定します。悪性だった場合は高次医療施設に紹介します。
- まれに**卵巢奇形腫の再発**を繰り返すことがあります。少なくとも1年に1回は検診を受けたほうが良いでしょう。

●手術・入院の費用

- 当院では、木曜日に入院、金曜日の午後に手術、月曜日に退院する4泊5日を基本的なスケジュールとしています。希望に応じて入院期間を短縮・延長できます。
- 卵巣奇形腫に対する腹腔鏡下手術と入院にかかる費用の目安です。

保険診療 (3割負担)	食事・個室料金など (自費)	合計
約162,000円	約59,000円	約220,000円

- 保険診療の自己負担額のうち上限額 (年収などによって異なります) を超えた分が支給される高額療養費制度もあります。
- 医療保険を請求する場合は保険会社の書類を準備して受付に提出してください。